

星 稜 サ ・ エ ・ ラ

seiryô çà et là 2013 No. 30

inaokigakuen news letter



特集1

星稜高等学校野球部

6年ぶり16回目の甲子園出場!

特集2

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

「超」難関企業を目指す!

『星稜女子力MOON SHOT講座』スタート

星稜高等学校 野球部
6年ぶりの
甲子園出場!

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

Amitié Seiryô ～星稜の友～

『親業』支援コラム「オトナのミカタ」

総合研究所・地域連携センターだより

星稜 Information



星稜高等学校野球部

6年ぶり16回目の甲子園出場！

この夏、第95回全国高等学校野球選手権記念大会に出場した星稜高等学校野球部。惜しくも破れはしましたが6年ぶり16回目の甲子園出場という快挙を成し遂げました。今回は、チームを率いた林和成監督と北村拓己主将に今大会を振り返ってのお話をうかがいました。



北村拓己 主将

林和成 監督

生たちと一緒に野球に励んできた3年間でしたので、今年は特別な思い入れもありました。しばらく甲子園から遠ざかっていたこともあり、今年こそはという思いが強かったですね。

北村拓己主将(以下、北村) 僕たち3年生も、高校野球最後の夏ということで必ず甲子園に行こうという気持ちが強かったです。その気持ちはどのチームよりも強く持っていたと思います。

林 甲子園が決まった瞬間は、まず安堵感が先に立ちました。昨年には稲置学園が創立80周年を迎え、今年は星稜野球部出身の松井秀喜さんが国民栄誉賞を受賞された中で、重圧がまったくなかったと言えれば嘘になります。また早い段階で箕島高校が和歌山代表として甲子園出場を決めたことで、「星稜も甲子園へ」という期待も高まっていたから。ただチームには変な緊張感もなく、リラックスした状態で試合に臨めました。

「今年こそ、甲子園へ」。

強い気持ちがありました。

林和成監督(以下、林) まずは、応援してくださった皆様に感謝申し上げます。選手たちのがんばりと皆様の声援で、6年ぶりの甲子園出場を実現することができました。私は監督になって今年で3年目。毎年チームへの思いは強いのですが、北村主将をはじめとする今の3年

北村 今年こそ勝ちたいという気持ちと一緒に、最後の夏を思いっきり楽しもうという気持ちもありました。試合に出場するしないにかかわらず、部員みんなで楽しもうと繰り返し言っていました。甲子園出場が決まった時はもちろんすごく嬉しくて、今までやってきたことや苦しかったことが報われたと思いました。それから、ベンチに入っていないメンバーが涙

稲置学園 全国大会出場の部活動

金沢星稜大学

● サッカー部

第37回総理大臣杯全日本大学サッカー
トーナメント ベスト16



- 軟式野球部
- 硬式テニス部
- 剣道部
- 空手道部

星稜高等学校

● トランポリン部

全国トランポリン選手権団体男子優勝、
団体女子2位、シンクロで男女とも優勝



- 陸上競技部
- 男子サッカー部
- 女子テニス部
- レスリング部
- 女子剣道部
- 体操部
- 剣詩舞（詩吟部）
- 将棋部
- 囲碁部
- 小倉百人一首かるた部
- 天文部

星稜中学校

● 野球部

第30回全日本軟式野球大会3位



- サッカー部
- 第44回全国中学校サッカー大会ベスト16

支えてくれた人たちへ、 恩返しができました。

を流して喜びを分かち合ってくれる姿を見て、チームワークをあらためて実感できました。試合に出られなくても一生懸命サポートしてくれたメンバーたちを甲子園に連れて行くことができる。そのことも嬉しかったです。

林 今年のチームは、一体感のあるチームでした。北村君を中心に、非常によくまとまってくれたと思っています。本大会では残念ながら一回戦で破れてしまいましたが、チームの状態も雰囲気も決して悪くはありませんでした。やるだけのことはやり、出せるだけのものを出してきたつもりですので、悔いはありません。

北村 負けてしまったことに悔しい気持ちはあります。でも、小さい頃からの憧れの場所、高校球児なら誰もが目指す場所で野球ができた喜びが大きかったです。自分の高校野球を甲子園で終われたことにも感謝しています。今まで支えてくれた人を甲子園に連れて行けたことで、少しは恩返しができたのかなと思っています。



林 選手たちには、感謝しかありません。厳しい練習が続く中で、よくついてきてくれました。同様に保護者の方にも大変感謝しております。チームとともに一心同体となり、温かい声援を送ってくれました。そういった意味では保護者の方々の熱は生徒以上だったのかもしれない（笑）。皆さんの支えがなければ勝てなかったと思います。

北村 「そこまでやるのか」という厳しい練習もありました（笑）。でも、監督は厳しさの中にも愛情があつて、監督を信じていれば最後はきつと報われると思っていました。監督の下で野球を続けてきてよかったです。

星稜の野球は「人づくり」。 それを守り続けていく。

林 今後については、「次は甲子園に行っただけでは駄目だぞ」という皆さんの期待も感じていますので、甲子園で勝てるチームを作っていかなければという気持ちが強いんです。しかしながら、勝利至上主義になつてはいけないうのが星稜野球。勝ちを目指すだけではなく、人をつくるのが星稜の伝統です。高校野球を通じて生徒たちに学んでほしいこと、伝えていきたいことがたくさんありますので、その伝統は曲げることなく今後も取り組んでいきたいと思っています。

北村 後輩たちには、甲子園に連続で出場してほしいという気持ちも強くなりますが、一番大切なのは3年間という短い高校野球をどれだけ充実させるかだと思います。一日一日を充実させて、その結果、最後に笑ってほしいです。自分も、夢であるプロ野球選手を目指して大学で野球を続けようと考えています。大学で、プロで、お世話になったたくさんの方々に恩返しができるようにがんばりたいと思っています。

林 あえて厳しい道へと進んでいく北村君に



は、これまで以上の困難や苦勞が待っているでしょう。そんな時こそ星稜高校で培ったものを思い出し、乗り越えてほしいですね。大学やプロに進んで野球を続けられるのは、ほんの一握りの人だけです。やりたいと願ってもできない人がたくさんいて、私自身もその一人でした。今の気持ちを忘れずに夢を達成してほしい。応援しています。

北村 ありがとうございます。大先輩の松井秀喜さんもうらつしやいますし、どこにいても星稜の名前は知られています。その名に恥じないように、星稜出身ということに誇りを持ってがんばっていききたいと思っています。



金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

「超」難関企業を目指す！

『星稜女子力MOONSHOT講座』スタート

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部では、航空業界をはじめとする「超」人気・難関企業の就職内定獲得を目指す女子学生限定の就職対策講座『MOONSHOT講座』を今年度よりスタートさせました。9月3・4日には中部国際空港セントレアにて第一回・二回の講座が行われ、多くの女子学生たちの挑戦が始まりました。

女子学生が夢に挑む MOONSHOT講座

進路支援センター 福田眞優（以下…福田）

『MOONSHOT講座』は、エアライン業界をはじめ鉄道・旅行・金融業界など、「超」のつく人気企業・難関企業からの内定獲得を目指す女子学生のための就職対策講座です。今年度から実施されるこの講座の前身は、昨年度に本学初のキャリアアテンダント（CA）職の内定者が出たことを受けて実施された『エアライン系企業対策講座』で、このエアライン講座の受講生からも空港グランドスタッフ（GS）職に2名が内定し、また政府系銀行や生命保険大手などの難関企業へも複数の内定者を出しています。そこで昨年は2日間のみだった講座をさらに発展させ、全12日間のプログラムとしたのがこのMOONSHOT講座です。

『MOONSHOT』とは、「月ロケットの打ち上げ」を意味しています。アポロ計画が



金沢星稜大学 人間科学部 3年次 坂本 晴菜さん
金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部 進路支援センター 福田 眞優
金沢星稜大学女子短期大学部 1年次 杉森 由依さん



それまで不可能だと考えられていた人類の月面着陸を実現させたように、たとえ成功率が百万分の一であっても、従来の発想を覆して不可能に挑戦しようという思いが講座名に込められています。

この講座への参加を申し込んだ女子学生は、大学生61名・短期大学部生22名の合計83名。これは私たちの想定を大きく上回る数でした。それだけ多くの学生が、高い目標へ挑戦する道を選んだということです。

坂本晴菜さん（以下・坂本） 私がこの講座に参加しようと思ったのは、自分を変えたい、成長させたいと思ったからです。私が在籍するこども学科では、学生のほとんどが教職に就くことを目指しています。私も当初は教員志望でしたが、自分の将来を考えて悩んだ上で一般企業への就職を目指すことにしました。もちろん不安はありました。だからこそ高い目標を持った学生が集まるこの講座に参加して、自分を成長させるきっかけにしたいと思ったんです。

杉森由依さん（以下・杉森） 短期大学部に進学して驚いたのは、就職活動のスタートが早いことでした。1年次から始まるとは思って

いなかったのですが、まず始めに焦りと不安を感じたんです。また短大生は、大学3年生と肩を並べて就職活動をしなくてはいいけません。この2年の差を埋めるためには、自分から積極的に挑戦しなくちゃダメだと思いこの講座への参加を決めました。

中部国際空港セントレアで 肌で感じたエアライン業界

福田 MOONSHOT講座は、エアライン系企業を目指すAコースと難関企業を目指すSコースに分かれています。一部Aコースのみの講義が設定されているだけで内容の多くは共通です。これは、接遇能力やホスピタリティマインド、また事務処理能力やコミュニケーション能力が求められるのは航空業界も難関企業も同じであり、それらのスキルを高めレベルで修得するのがこの講座の一番の目的だからです。

その上で、9月3・4日には、Aコースの学生を対象とした第一回・二回の講座が中部国際空港セントレアで行われました。坂本さん



と杉森さんはどちらもAコース。セントレアでの講座にも参加しましたね。

坂本 CAやGSとしての経験を持つ講師の方の講義を受けたり、空港を運営する企業の方や税関職員の方からお話をうかがえたり、とても貴重な経験でした。一機の飛行機を飛ばすためにたくさんの人が関わっていること、さまざまな役割を担う人がいることを知りました。それだけ多くの方々が、お客様の安全と快適さに対して責任感を持って働いている姿を間近に見て実感できたのがよかったです。

杉森 それまで、航空業界の花形はパイロットとCAという印象を持っていました。印象的だったのは、整備の方がしてくださった「ペー一本紛失しただけで飛行機は飛ばない」というお話。パイロットやCAだけではなく、地上で働いている方々にも大きな役割と責任があると知って、素敵な仕事だとあらためて感じました。

福田 エアライン業界を視野に入れている学生の皆さんに、その仕事を肌で感じてもらいたいと考えてセントレアでの講義を実施しました。航空業界について私たち大学職員が伝えるよりも多くのことを現場で感じ、これから始まる講座への意欲を高めてくれたことと思います。

83名の女子学生の挑戦は まだ始まったばかり

坂本 今はまだ目指す業界が定まっておらず悩んでいます。でも、人と接して役立てる仕事に就きたいと考えています。このMOONSHOT講座を通して、ひとつでも多くのことを吸収して、自分の将来を見定めていきたいと思っています。3月に卒業してCAになった先輩には、在学中にいろいろと相談



にのつていただき、たくさんの勇気をもらいました。私も後輩たちにとってそんな存在になりたいですね。特にこども学科で一般就職の道を選ぶ後輩には、以前の私と同じように悩む人がいるかもしれません。そんな人に勇気を与えられる先輩になりたいと思っています。

杉森 MOONSHOT講座の内容には、スキんケアやメイクアップまであるんです。それを初めて知った時は「こまでしてくれるの？」と驚きました。女子学生のためにこままでのプログラムを作って実施してくれたことに感謝しています。

坂本先輩も私も中学校から星稜なんです。大学に進学する前は、先生方が一生懸命にサポートしてくれた中学高校と違って、大学は自己責任だし冷たいんだろうなと勝手に想像していました。でも実際は、とても親身に学生のことを考えてくださいます。本気で応援してくれているのがわかるので嬉しいですね。
福田 MOONSHOT講座に参加した83名の女子学生の挑戦はまだ始まったばかり。全員が希望の業界へ就職できるように、またひとりでも多くエアライン業界の夢を叶えられるようにこれからも全力で支援していきます。

金沢星稜大学女子短期大学部
信川景子 講師（キャリア教育）



**社会の期待に応えられる
ヒューマンスキルを育む**

今年4月から、金沢星稜大学女子短期大学部の教壇に立っています。専門分野はキャリア教育で、「職業人基礎Ⅰ」や「ビジネスマナー演習」、「キャリアプラン演習」などの授業を通して、学生のキャリアプランとヒューマンスキルの形成を支援しています。ヒューマンスキルとは、一般的に「円滑な人間関係を築く上で必要な技術や能力」を指します。経団連が毎年実施する、新卒採用に関するアンケート調査によると、企業が選考にあたって重視した点は、「コミュニケーション能力」が9年連続で第1位となっています。大学・短大で学ぶ専門知識や能力より先に、コミュニケーション能力やビジネスマナーなどのヒューマンスキルが重要視されるこの傾向は、今後もますます強まっていくでしょう。

高校を卒業したばかりの新生に「今、社会ではヒューマンスキルが求められている」と伝えても、実感するのは難しいかもしれません。しかし短大生であれば2年後には社会へと出ることになり、もちろん就職活動はそれより早く始まります。短い期間で、社会人として、女性として社会から求められるヒューマンスキルを統括的に育成していき、学生の皆さんが女性らしい感性・教養・マナーを備えた社会人になれるよう支援する。それが教員としての私の役割です。

**「型」を教えるのではなく
「心」を育む教員でありたい**

私が学生に教える上で心がけているのは、「方法だけではなく、なぜそうするのかの理由から考えさせる」ということです。たとえば、ビジネスマナーでは接客対応の仕方などを教えますが、マニュアル

**経験が、「心」を育てる。
「心」が、スキルになる。**

通りに動く人間を育てることが目的ではありません。ビジネスマナーの根底には思いやりの心、その人なりのホスピタリティがあり、それが立ち居振る舞いや言葉遣いに表れるものです。「型」ではなく、「心」を育てるのが、ヒューマンスキルの教育であると考えています。

ですから、学生の皆さんには「豊かな人間になってほしい」、そのために「いろいろな経験を積み重ねてほしい」と伝えていきます。

私自身は、大学卒業後に国際線の客室乗務員となり、退職後4年間のアメリカ留学を経て再び国際線客室乗務員となってインストラクターも務め、その後、研究機関で産学間の研究契約担当者として勤めてから教職に就くという、ちょっと変わった経歴を持っています。いろいろな場所で多くの人と出会い、成功も失敗も含むさまざまな経験を重ねたことが、すべて現在の私につながる糧となっています。

ホスピタリティに正解はなく、百人いたら百人通りの答えがあります。自分だけのホスピタリティをしっかりと育むために、さまざまな経験を積みながら、常に相手を気遣う心を忘れないでいてほしいですね。



学生とどんなに仲良くなっても、敬語で接します。
身近な社会人として、常に手本でありたいからです。

★ジャンプチャレンジ企画で「肥」えました?!

清掃と緑化で心地よい地域環境をつくるジャンプチャレンジ企画「クリーン&グリーン」チーム。7月13日(土)・14日(日)の1泊2日の日程で、学生会ジャンプ班と共におよそ30名で、穴水町での地域貢献活動を行いました。初日は、廃校になった穴水町兜小学校の清掃活動を行い、2日目は、9月に能登で行われた植樹祭の手伝いをしました。およそ3トンの牛糞の袋詰めと搬出をし、作業終了後は誰もが達成感に満ち溢れていました。



★出動! 金腐川清掃隊!!

8月7日(水)に、大学の裏に流れている金腐川の清掃活動を行いました。30度を超える真夏日でしたが、学生たちは冷たい川の水に足を浸らせながら、一歩一歩ゴミの回収作業を行いました。



★短大 24時間テレビチャリティーイベントに参加!

8月25日(日)、ジャンプチャレンジ企画「チャリティーイベント」チームが「24時間テレビチャリティー募金活動」に参加しました。24時間テレビは、大学・短期大学部として初参加であり、県内の高校生引率という立場で、学生43名が市内のショッピングセンターで募金活動を行いました。



募金後は、テレビ金沢のスタジオでアナウンサーと共に24時間テレビのフィナーレを飾りました。学生たちは、お金を募ることがどれだけ大変かを学びながら、募金会場まで足を運んでくれた人々の温かさを、この活動を通して感じ、忘れられないひと夏の経験になりました。



★東北のこどもたちに笑顔を!

8月31日(土)〜9月2日(月)、ジャンプチャレンジ企画「STEP」チームが宮城県松島市立宮戸小学校の児童たちと古着アート制作を行いました。「震災に遭ったこどもたちに笑顔をお届けしよう!」という目標を掲げ、活動を開始したこのチーム。こどもたちと古着をクレヨンやペンキでデザインし、最終的にすべての古着を繋ぎ

合わせ一枚の巨大Tシャツを完成させました。今後はプラントナーで花を育て、小学校周辺にフラワーロードを構築させようと計画しています。



★「星稜スポーツ新聞」第2号発刊!

ジャンプチャレンジ企画「スポーツマネジメント・ラボ」チームが作成した新聞「星稜スポーツ」第2号が9月24日(火)に発刊されました。今、学内でも注目をあびている学生アスリートの記事や各クラブ・サークルの活躍など、昨年度に作成した創刊号よりも盛りだくさんの内容が目白押しです。



★短大 ほし☆たびウラジオストク&北海道へ!

8月下旬の7日間と9月初旬の3日間に就職合宿クルーズ「ほし☆たび」を行いました。今回の行先はロシアのウラジオストクと毎年恒例の北海道。2回合わせて総勢91名の学生が参加し、就職活動への意識を高めました。



短 プレゼン女王は 誰の手に？

7月30日(火)、2年次の必修科目「プレゼンテーション」(担当:佐々木康成准教授・辰島裕美講師)で、毎年恒例の「グランドチャンピオン大会」が開催されました。エントリーした13名は、半年間の授業で高評価を得てきた、クラスを代表する学生たち。様々な切り口で、自身が考える「社会人にとって大切なことは何か」ということを、緊張しながらも堂々とプレゼンしました。また、ゲスト審査員に、日経BP社から「日経パソコン」編集長の中野淳氏をお招きし、出場者へのアドバイスもしていただきました。グランドチャンピオンには3名が選出され、会場に集まった学生、教職員から大きな拍手が送られました。



短 水中世界を満喫！

8月29日(木)から2泊3日の日程で、第4回Sei-Tan Act!「サマーイベント」が実施されました。活動内容は、越前海岸「稲井」でのスキューバダイビング。短期大学の女子学生7名が、それぞれ約13kgある機材を担ぎ、初めて目にする海中の世界に感動を覚えました。着慣れないウエットスーツや水中浮力などを体感しながら、最後は全員ライセンスを取得することができました。



短大 セタ一色の キャンパス☆

7月7日(日)の七夕に合わせて、大学や短期大学の学生ホールに、学生たちの願いごとが書かれた色とりどりの短冊が吊るされました。笹の設置から撤収までしてくれた、ジャンプチャレンジ企画「キャンパスデコレーション」チームに所属する学生たちが短冊の数を数えたところ、大学で514枚、短期大学部で137枚の短冊が吊るされていきました。また、短期大学部では、7日(日)の夜、稲置学園研修所において、第3回Sei-Tan Act!「七夕まつり」が行われました。七夕にちなんで、流しそうめんを食し、川柳を詠み、最後は星空観測を行う盛りだくさんの内容で、充実した夜を過ごしました。



短 北陸三県私立短期大学 バレーボール準優勝！

7月13日(土)・14日(日)に第46回北陸三県私立短期大学体育大会が富山県内で行われました。本学が出場した種目は「バレーボール」「ソフトボール」「バドミントン」の3種目で、「バレーボール」では準優勝という素晴らしい結果を残しました。また、出場した本学の学生たちは、他の短期大学の学生と交流を深めながら気持ちの良い汗を流し、充実した一日を過ごしました。



高 海外語学研修

7月27日(土)～8月7日(水)、2年生男子7名・女子12名の合計19名が、オーストラリアのゴールドコーストへ語学研修に行きました。現地の家庭でホームステイをしながら、語学学校の研修プログラムに沿って英語を学びました。英語の勉強はもとより、ホストファミリーからの温かいおもてなしに感激したり、動物園でコアラやカンガルーと戯れたり、オーストラリアを満喫しました。海外にもうひとつの家族ができ、英語の語学力に自信がついた研修となりました。



★ 高 1年東京方面大学見学会 2年関西方面大学見学会

8月2日(金)・3日(土)、1年生25名が東京方面の大学見学会に、8月6日(火)・7日(水)、2年生69名が関西方面の大学見学会に行きました。1年生は東京工業大学の見学会と、一橋大学、東



京大学、早稲田大学のオープンキャンパスに参加しました。2年生は京都大学、神戸大学、大阪大学を見学し、駿台予備学校大阪校の講演を聴きました。由緒のある大学のキャンパスを自ら訪問し、志望大学の進学実現に向けて、意識向上した見学会となりました。

★ 高 1・2年 Pコース課外実習

8月27日(火)・28日(水)、1年Pコース75名が白山登山、2年Pコース84名が岐阜県長良川へ課外実習に行きました。1年生は室堂で一泊し、御来光を仰ぐため早朝に山頂を目指しました。壮大なパノラマを一望できた瞬間、眠気と疲れが一気にふっ飛び、森羅万象の神秘に感銘を受けました。2年生は、8人乗りゴムボートで急流を下るラフティングや、滝の岩肌を登つ



たり泳いだりして水とたわむれるシャワークライミングを体験しました。頭からずぶ濡れになりましたが、日頃味わえない大自然の醍醐味を全身で体感し、自然児に生まれ変わったような気分でした。



★ 高 星稜さわやか パトロール隊が 表彰されました!

7月10日(水)、自転車盗難防止などの活動をしている星稜さわやかパトロール隊が、石川県警察本部にて、平成25年度補導功労団体として表彰されました。警察本部では、毎年、石川県少年補導員連絡協議会と合同で、少年の健全育成、非行防止などに尽力された団体および個人に表彰を行っているそうです。隊員の地道な活動が認められました。

★ 高 星稜祭開催!!

9月5日(木)・6日(金)、第52回星稜祭が開催されました。今年のテーマは《笑咲幸伝く笑いを咲かせ幸せを伝える星となれ》。1日目は開会式に始まり、劇場版アニメ「花咲くいろは」の主題歌を歌うロックバンド「nano R.I.P.E」のライブと吹奏楽部のコンサート、2日目は各クラスのテナントや催しがありました。焼きそばやたこ焼きなど定番のB級グルメのほか、オリジナルの屋台が体育館の周りにズラリと並び、大盛況でした。また、文化部の展示やお化け屋敷、歌やダンスを披露する特設ステージなど、活気があふれ若さみなぎる星稜祭でした。



★ 高 ワールドカップ 日本代表!!

サッカー部の阿部雅志さん(1年)が、U-15(FIFA U-17ワールドカップ2015)日本代表チームの一員として選ばれました。日本代表チームは、9月14日(土)〜20日(金)までタイ・チョンブリにてAFC U-16選手権2014予選直前キャンプを行い、続いて9月21日(土)〜30日(月)までマレーシア・クアラルンプールにてAFC U-16選手権2014予選ラウンドグループJに参加しました。星稜の代表として、また日本の代表として活躍することを期待します。



★合唱コンクール開催！

7月16日(火)、13回目の合唱コンクールが稲置記念館で行われました。課題曲「未来へ」と自由曲1曲をクラス毎に発表しました。1年生は初めてのコンクールの雰囲気になじめず、2年生は今ひとつ声が伸びず、3年生は余裕のあるハーモニーを会場内に奏でました。大勢の保護者の方がコンクールを聴きに訪れました。



★幼稚園を訪問！

9月5日(木)、2年生61名が金沢星稜大学附属星稜幼稚園を訪問しました。この訪問は、技術・家庭科授業の一環として、幼児と一緒に遊ぶことで、遊びを工夫し触れ合うことができるといえることを目的としています。生徒たちは、自分の弟や妹のように園児と接し、アットホームな時間を過ごしました。仲良くなった頃には帰る時間となり、名残惜しい気持ちで学校に戻りました。



★高 6月からの主な部活動成績

星稜高等学校

全国高等学校総合体育大会

- 女子400mH
第6位 英 未来

第38回全国高等学校トランポリン競技選手権

- 団体競技 男子の部
優勝 安藤 諒、堺 亮介
永田 信弥、谷口 遼平
- 団体競技 女子の部
第2位 村上 碧、中野 蘭葉
- 個人競技 男子の部
第2位 谷口 遼平
第3位 安藤 諒
- シンクロナイズド競技 男子の部
優勝 谷口 遼平、市川 隆太
- シンクロナイズド競技 女子の部
優勝 中野 蘭葉、平野 里歩
第3位 大門 音々、村上 碧
- 男子最高演技点賞
安藤 諒

平成25年度北信越高等学校体育大会

□陸上競技

- 男子4×100mR
第2位 神谷 直樹、村田 光
菅野 大輔、松田 勇祐
- 女子1500m
第3位 五島 莉乃
- 女子3000m
第2位 五島 莉乃
- 女子400mH
第3位 英 未来
- 女子4×100mR
第3位 駒田 薫子、秋田 理沙
表 遥香、葛巻 綾乃

□サッカー競技

- 男子・第2位
- 女子・第3位

□ソフトボール競技

- 男子2部・優勝

□剣道競技

- 女子団体
第2位 森田 紗世、山田 泉美
木島 芙美、細川 栞

- 鮎田 朱里、森田 真衣
小村奈緒子

□体操競技

- 男子団体総合
第2位
- 男子ゆか
第3位 高田 満吉
- 男子跳馬
第2位 高田 治吉
- 男子鉄棒
第3位 高田 満吉

□テニス競技

- 女子団体
優勝 中川 愛菜、木村優布子
齊藤明日香、片口 夢
今井 未来

□レスリング競技

- 66kg級
優勝 中村 優太
- 60kg級
優勝 喜多 亮介

第95回全国高等学校野球選手権記念大会 石川大会

- 優勝

石川県高等学校総合体育大会競泳

- 男子200m個人メドレー
第2位 山田 涼太
- 女子200mバタフライ
第2位 北田まあこ

石川県高等学校新人体育大会 水泳競技

- 男子50m平泳ぎ
優勝 布島 惇貴
第2位 高木 精希



JOCジュニアオリンピックカップ石川県大会

- 女子シングルス
優勝 片口 夢

第27回金沢地区高等学校弓道大会

- 男子個人
優勝 林 亮太

第54回北陸吹奏楽コンクール

- 高等学校A部門・銀賞

第26回全国高等学校将棋竜王戦 石川県大会

- B級
優勝 松井 綾汰

第55回石川県合唱コンクール

- 高等学校部門A・金賞

星稜中学校

第30回全日本少年軟式野球大会

- 第3位

第34回北信越中学校サッカー大会

- 第2位

第21回北陸ジュニアゴルフ選手権大会

- 第2位 丸一 千紘



☆プールあそび☆

6月、プール遊びがはじまったよ。年少さんにとっては初めてのプール。初めはおそろえる水に足をいれることもたちでしたが、水に入ってしまうとなんその。大はしゃぎ！水が大好きになりました。



☆わくわくキャンプ☆

7月25日(木)・26日(金)、年長組が幼稚園でお泊りを体験しました。グループに分かれて地域のスーパーに買い物に行き、夕食作り。みんなで協力し合って大好きな焼きそばとフルーツポンチを作りました。みんなでテーブルを準備し、たのしく夕食を食べました。



翌朝は、御所町の町会のラジオ体操に参加しました。最初は不安そうにしていた子も「お泊りのしかった〜！」と笑顔がみられました。

☆夏まつり☆

8月24日(土)に夏まつりが行われ、園庭には竹で作った流しそうめん台が設置されました。流れてきたそうめんをお箸でつかむのはお手のもの！次々と流れてくるそうめんを、おいしそうに食べていました。園内では、すいか割りや輪投げなどお楽しみコーナーがいっぱいあり、こどもたちの笑顔が溢れた1日でした。



☆サンサンキッズ☆

水遊び・色水遊び・しゃぼん玉など夏ならではの遊びを楽しみました。星稜高校の坂野健夫先生によるサイエンスや星稜幼稚園のバス運転手さんの仲間によるハーモニカ演奏も聞いたんですよ。



その他に、すいか割りにも挑戦！新聞紙で作った大きなすいかに、自分で作った新聞紙の棒を持って、友だちの「右、もうちょっと左」という声を頼りに「エイーイ！」割れたかな？



さらに、ジェニファー先生のかき氷屋さんもオープンしました。シロップはいちご・めろん・れもんの3種類。

ジェニファー先生が「Strawberries? Meillon? Lemon?」と尋ねるとこどもたちは「Strawberries!」と3種類の中から好きな味を選び、ジェニファー先生が「Please」と手渡しました。「Thank you!」と言いながら受け取ったこどもたちは満足気な笑顔でいっぱい！



北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



北國銀行 金沢城北支店

山本早希子 (星稜女子短期大学 卒業生)

お客さまにも、行内でも、 信頼される人間でありたい。

星稜女子短期大学(現・金沢星稜大学女子短期大学部)を卒業後、北國銀行に入行して4年目です。今年の4月からファイナンシャルプランナー(FP)として働いており、主に個人のお客さまに金融商品や資産活用のご提案をしています。

それ以前は窓口業務を担当していました。お客さまの方から来てくださったご希望をお伝えいただける窓口と違い、FPは自らお客さまのもとへ赴き、どんなニーズをお持ちなのか、どんな提案がお客さまのお役に立っているのかを探らなくてはなりません。FPになって間もない今の私にとっては、毎日が大変で、勉強の日々です。

今、第一に心がけているのは、「お客さまから信用していただける人間であること」です。FPは、お金を通じてお客さまの人生と深くかわる仕事です。お客さまから信用され、どんなことでもご相談いただける人間になることが最初の一步だと考えています。

もちろん、金融商品や法令に関する知識などを勉強し続けることも求められます。自分が知らなければお客さまに最適なご提案などできるわけがありません。知識の面でも自分を磨くことが求められる、やりがいのある仕事だと思っています。

FPになってよかったと思えたのは、やはりお客さまに喜んでいただけた時です。老後や相続、結婚や住宅の資金など、お金には不安も多いもの。私がFPとしてお手伝いすることで、そんな不安を解消して安心していただきたいと、いつも思っています。まだまだFPとしては駆け出しですが、お客さまからも、北國銀行内でも評価されるように、がんばっていきたいと思います。

星短での2年間は、今も私の財産です。ビジネスマナーから化粧の仕方まで、星短で教わったことがとても役立っています。また、先生方や職員の皆さんがとても親身になって、勉強面や生活面、就職活動でも私たち学生をサポートしてくれました。2年間という短い期間で学び、将来の準備をするのは大変でしたが、それ



一緒に守りたい、今日があります。
ともに創りたい、未来があります。

ふるさとの今日を、明日につないでいく。

地域のみなさと、未来をひらいていく。

ふるさとに暮らす人々が、

今日も、明日も笑顔で過ごすことができるように。

北國銀行は、これまでこれからも

地域とともに歩む銀行であり続けます。

『親業』支援コラム

オトのカタミ



金沢星稜大学人間科学部教授
馬場 治

読書嫌いの大学生に保護者ができること



今年もまた「読書の秋」や「読書週間」がやって来ます。しかし、最近の大学生は何かと忙しく「読書する暇がない」と言い、愛読書を探ねても「特にない」という答えが返ってきます。寂しい限りです。ただ、「活字離れ」ではあっても「面白くて娯楽になる漫画」は読む学生が多いようです。

そこで、読者アンケートの要望による標題のテーマについて、実在した人物や歴史を題材とする学習漫画を利用して読書嫌いを改善する私なりの方法を提案してみたいと思います。

学習漫画を利用した読書法

世の中には様々な読書論や読書術に関する書物が出回っていますが、シヨウペンハウエルから齋藤孝氏まで、いずれも読書は知力養成に資するという認識で共通しています。知力の前提には知識の絶対量と体系化が必要です。読書は、電子端末から断片的な情報を入力する行為とは別次元です。

生涯教育として読書習慣は大切ですが、食わず嫌いのままでは始まりません。読書に親しむきっかけとして、また広義の読書として学習漫画は認められてよいと思います。人參嫌いなこどもの苦手意識を克服させる方法と同じです。

保護者の方からは「大学生に漫画とは何事だ」とお叱りを受けるかもしれません。しかし、娯楽ではなく学習を目的とした漫画です。私は、発想が陳腐で文章が拙劣な通俗小説よりも、考证がしっかりした学習漫画の方が優れていると考えます。玉川こども図書館でも貸出率が高いとの由。

発達段階の観点からも、絵本から活字へと進む訳ですから理に適っているのではないのでしょうか。もう少し詳しく見ると通常、読み聞かせ→文字が読める→文章が読める→自分から読む→考えるために読むという過程を辿ります。理想的には、高校生から大人では読書が人生の支えや生活する上でのスキルと

なっている段階です。読書嫌いのせいでこの段階に至っていないとすれば、事象考察や問題解決の能力が要求される知識基盤型社会に出てから困ります。

読書よりも体験を重視する方もいますが、大学生の場合、読書と体験は車の両輪であるべきでしょう。なぜなら、世の中の全てを体験できる訳ではないからです。読書で得た知識を体験によって身体知とし、あるいは、体験で得た事象を読書によって概念化するという二つの主観と客観の往復が重要です。概念化とは言語によって普遍的に表象することですが、読書によって思考力の素材である語彙量が増えれば体験したエピソード記憶も豊かになります。延いては、新学習指導要領で謳われている「生きる力」へと繋がります。

時事問題を捉えつつ不朽の良書を選ぶ

さて、テーマに即した具体的な方法や実践に移りましょう。

まずは、読むに値する書物の選定です。仮に「物質科学の研究により世界に貢献した人物伝」という座標を設けます。これに「時事問題」という条件を加えると、「放射能」「キュリー夫人」などが想起されます。次に、大学生のこともへの興味付けです。二ニュースや新聞記事を切り口に「ラジウムを発見した科学者は誰か知っているか」と問いかけます。「知らない」という答えが返ってきたらチャンスです。そこで秘かに用意しておいた学習漫画（試しに図書館で借り、読了後、蔵書にしたいという欲求が起これば購入）を差し出し、「面白かったぞ。読んでみる」と勧めます。平成生まれの大学生に上から目線で「読書しろ」は通じません。親子で偉人の生き様に触れ、賛嘆した場面や印象に残った言葉を伝え合い、素直に感動を共有しましょう。学生時代の場面なら、花の都パリに出て遊ぶことなく屋根裏部屋で寝寝も忘れ刻苦勉強した姿です。怠惰な私には真似できません

自己投資としての読書と書物

が、「この人の千分の一でも」と思えば幸せです。また、ノーベル賞を受けた後も驕ることなく、被曝で白血病に冒されながらも死ぬまで科学者として研究を続けた生き様に畏敬の念を覚えない人はいないでしょう。その後、「もつと詳しくキュリー夫人のことを知りたい」と知的好奇心が高まれば漫画から活字へとシフトするチャンスです。例えば、秘かに用意しておいた「この人を見よ③ マリ・キュリー」(童話屋・二〇〇四)を差し出し、「頭が下がった。読んでみる」と勧めます。漢字には総ルビが付いているので文章を読むうちに自然と語彙力も培われます。世界伝記全集(講談社・一九五四)の志を受け継いだシリーズ発刊の辞には「今こそ、子どもたちに精神の高い偉人伝を読ませたい。子どもの本の仕事を半生してきて思うことは、子どもが幸せな人生を送るには、いい本といい大人に出会うことが大切である」という「事である」という揺るぎない信念が示されています。

先人に学び、「この人はすごい」「こんな人になりたい」といった賛嘆や憧憬の対象を持つことは素敵だと思います。

価値観の相違かもしれませんが、最近の大学生は読書よりも、仲間との会話や利根的な遊興を大切にしている傾向が散見されます。大学生のこどもに干渉したくはありませんが、放恣な生活に陥っているなら時間とお金が「勿体ない」という指導はすべきでしょう。具体的には、友人とのお喋りに「時間費やすなら半分の一時間を読書に当てる。バイトで二千円稼いだなら半分の千円で書物を買つ」といった「半分節約ルール」を作つては如何でしょうか。自己投資のための節約習慣が身に付けば、将来何倍もの知的財産ができます。

では、一度、親子で図書館や書店に出かけてみてください。

総合研究所・ 地域連携センター だより



地域での活動を通して自ら考え、
行動する実践力を高める。

大学コンソーシアム石川の平成25年度採択事業に、
大学の地域活性化への取り組み2件が採択されました。

■地域課題研究ゼミナール支援事業

地域課題研究ゼミナール支援事業は、地域(市町のほか、商工会などの各種団体、NPO法人など)の課題等について、その解決策を提言する大学等のゼミナールを大学コンソーシアム石川が選定し、その研究活動に対して助成するものです。

事業名：穴水町における地域ぐるみの健康
長寿のまちづくり推進策の検討

活動内容：過疎・高齢化が進む穴水町において、
健康長寿とスポーツの視点から、従
来の一般的スポーツ種目だけでなく
同町ならではの自然、歴史、文化等
の地域資源を活かしたスポーツ・ツー
リズム推進の具体的提案を行う。



池田 幸應
人間科学部教授



齊藤 陽子
人間科学部講師

■地域貢献型学生プロジェクト推進事業

地域貢献型学生プロジェクト推進事業は、地域のニーズと学生の社会への参加意欲のマッチングにより、地域の活性化を推進する活動を行う大学等の学生グループを大学コンソーシアム石川が選定し、その地域貢献活動に対して助成するものです。

事業名：宝達志水町散策マップの作成

活動内容：過去に行った宝達志水町の海、里、山をテーマにした
子ども向けのワークショップの成果をもとに、四季を通じ
て山と海に風光明媚な観光資源を持つ同町の魅力を、
既成概念にとらわれない若い学生たちの感性で捉え、
「観光」「まちづくり」につながる散策マップを作成する。



池上 奨
人間科学部教授

〈活動中の主な事業〉

■「地域連携による地域貢献活動」推進事業(金沢星稷大学地域連携センター)

事業名：「能登町柳田地区の地域課題発見・課題解決に向けての取り組み」／曾我 千春 経済学部准教授
ゼミナール：曾我専門ゼミI、木村専門ゼミI、西村専門ゼミII・基礎ゼミII

活動内容：石川県鳳珠郡能登町柳田地区の地域住民、行政との関わりを通して、地域の課題(少子高齢化、
産業・雇用、医療・福祉など)を解決していく方法を考える。



■能登キャンパス学生教育・活動支援事業(能登キャンパス構想推進協議会委託事業)

事業名：「ウォーキングツアーでのスマート観光案内の効果検証」／上田 卓爾 女子短期大学部特任教授

活動内容：珠州市内のウォーキングツアー参加者に、スマートフォンを利用した観光案内を体験してもらい、導入
効果や改善すべき課題などについて検証する。



事業名：「過疎高齢化に対応した地域環境を活かしたスポーツ・ツーリズムの推進」／池田 幸應 人間科学部教授

事業名：「穴水町におけるスポーツフィールド学習の実施」／池田 幸應 人間科学部教授



■「学都金沢」地域づくり活動支援事業(金沢市助成事業)

事業名：「地域の伝統的農産物を活用した地域連携推進による地域づくり」／池田 幸應 人間科学部教授

活動内容：金沢市夕日寺校下の地域住民、小学校やNPO等と連携し、金沢市における伝統的農産物の一つである「伝燈寺里芋」をキーワードとして「伝燈寺里芋フェア」(仮称)を開催する。野外教育の視点から、
地域住民や小学生へのふるさと・環境教育の推進、加えて地域ブランド力の向上を図り、
金沢市の地域づくりの推進に寄与する。

事業名：「金沢の子どもの足を速くする!〜50メートルダッシュ王選手権〜」／田島 良輝 人間科学部准教授

活動内容：「かけっこの異種格闘技戦!」陸上選手でなくとも、足の速い子どもはたくさんいます。サッカー、野球、
バスケット、今はスポーツをしていない子どもだって負けないかもしれません。いったい誰が速いのか。競
技の枠を超えてかけっこの異種格闘技戦を開催する。



■笹川科学研究助成〈実践研究部門〉(公益財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成)

事業名：世界農業遺産能登を支える「まつり」の実践研究／大森 重宣 人間科学部教授

活動内容：能登の人々の生活と祭りの関係をフィールドワーク、聞き取り調査、文献調査により明らかにする。実際に
祭りに参加することにより、その成り立ちと祭りの伝播、現代的意義と継続のための問題点を検討し、世界
農業遺産能登の生活環境維持と人々の暮らしを継続するために祭りが担う役割を、スポーツ人類学的
視点(芸能・舞踊、相撲や綱引きなどが国在来の運動競技は、祭の催し物から始まる)から機能、構造、
意味を調査検討する。能登の祭りを論議し、得られた知見から維持継承のための方策を提唱することによ
り、能登の人々の生活システムを守る一助とする。



■河北潟懸濁物質組成調査(河北潟環境対策期成同盟会助成事業)／永坂 正夫 人間科学部教授

活動内容：河北潟の富栄養化対策及び自然再生に資するため、現在の調整池において湖水の濁りを発生させて
いる物質組成を分析し、その空間的・季節的な挙動に関する基礎データを収集する。



さまざまな研究、実践活動を通して、
地域とのつながりを強めていきます。

学校法人稲置学園の創立80周年を記念し、 星稜基金を設置いたしました。

星稜基金は、学校法人稲置学園の設置校に在籍する学生・生徒・園児の就学支援やスポーツ・文化等の課外活動に対する支援を行うことにより、より充実した学園生活を支援するとともに次代を担う有為な人材を育成することを目的としています。

8月31日現在の稲置学園星稜基金スポーツ・文化等課外活動支援の受賞者は右記のとおりです。



個人・団体	所属	申請区分	名 称
団体	中学	スポーツ	星稜中学校 野球部
団体	高校	スポーツ	星稜高等学校 野球部
団体	大学	スポーツ	金沢星稜大学 軟式野球部
団体	大学	スポーツ	金沢星稜大学 サッカー部
個人	大学	スポーツ	手塚 翔太
個人	大学	スポーツ	大矢 浩貴
個人	大学	スポーツ	岡室 憲明
個人	大学	スポーツ	鍛冶 有成
個人	大学	スポーツ	菊田 来輝
個人	大学	スポーツ	吉田 里穂
個人	大学	スポーツ	鎌田 早紀
個人	大学	スポーツ	加藤 綾一
個人	大学	スポーツ	山崎 将貴
個人	大学	スポーツ	池原 徹
個人	大学	スポーツ	長塚 美可子
個人	大学	スポーツ	南 隼人
個人	大学	スポーツ	小野寺 啓

星稜エクステンションセンター 検定試験合格状況

2013年度前期実施の検定試験合格状況（大学生・短期大学部生）

試験日	検定試験名	部門・級	受験者	合格者	合格率
5月26日(日)	ファイナンシャル・プランニング技能検定試験	2級学科	10名	3名	30.0%
		2級実技	7名	3名	42.9%
		3級実技	1名	1名	100.0%
6月 8日(土)	コンピュータサービス技能評価試験	ワープロ3級	73名	71名	97.3%
		表計算3級	82名	73名	89.0%
6月 9日(日)	日商簿記検定	2級	27名	2名	※ 7.4%
		3級	60名	15名	25.0%
6月22日(土)	秘書検定	2級	56名	36名	64.3%
		3級	121名	88名	72.7%
6月30日(日)	ビジネス実務法務検定試験	2級	13名	3名	23.1%
		3級	55名	40名	72.7%
7月13日(土)	販売士検定試験	3級	23名	10名	43.5%
7月14日(日)	全経簿記能力検定試験	3級	123名	114名	92.7%
7月20日(土)	電卓計算能力検定試験	1級	5名	4名	80.0%
		2級	55名	28名	50.9%
7月27日(土)	コンピュータサービス技能評価試験	ワープロ2級	51名	40名	78.4%
		ワープロ3級	58名	58名	100.0%
		表計算2級	21名	19名	90.5%
		表計算3級	48名	44名	91.7%
	コンピュータ会計能力検定試験	3級	30名	28名	93.3%
	Webクリエイター能力認定試験	上級	7名	7名	100.0%
	医療事務技能審査試験	医科2級	8名	3名	37.5%

※金沢商工会議所全体の合格率は7.0%（2013年8月末現在）

サエラ30号に関するアンケートへのご協力をお願い

毎号の内容に関する皆様からのご意見を「WEBアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方、先着100名様に図書カード（500円分）をプレゼントいたします。右記ウェブサイトから、アンケートへの回答をお願いいたします。

先着 100名様に
図書カードをプレゼント!

<http://www.seiry.jp/>

行事スケジュール (10月～12月)

金沢星稜大学

10	3日(木)・4日(金)	テキスト販売期間、履修登録確認・修正期間
	5日(土)	創立記念日
	10日(木)・11日(金)	履修登録削除期間(削除のみ)
	25日(金)～27日(日)	流星祭
	28日(月)	休講日
11	31日(木)	月曜代替講義日
	9日(土)	推薦入試
	10日(日)	推薦入試 日経テスト
	16日(土)・17日(日)	学内業界研究会
	17日(日)	大学院入学試験A日程(学内選考・一般・社会人) 併設校特別編入試験、併設校編入学試験
12	23日(土)	一般入試対策講座
	1日(日)	ビジネス能力検定
	7日(土)・8日(日)	学内合同企業説明会
	14日(土)	プラス1入試
	17日(火)	補講日
	18日(水)	経済学部卒業研究発表会 人間科学部2・3年フィールド成果報告会
	28日(土)～H26.1/5(日)	全館休館

金沢星稜大学女子短期大学部

10	1日(火)・2日(水)	テキスト販売期間
	3日(木)・4日(金)	履修登録確認・修正期間
	5日(土)	創立記念日
	25日(金)～27日(日)	流星祭
	28日(月)	休講日
11	31日(木)	月曜代替講義日
	8日(金)	日本語検定3級受験(1年次)
	9日(土)	秘書検定2級受験(1年次) 推薦入試
	10日(日)	推薦入試
	23日(土)	一般入試対策講座 お茶席体験(1年次)
12	14日(土)	自己推薦入試(B日程)
	17日(火)・18日(水)	補講日
	28日(土)～H26.1/5(日)	全館休館

星稜高等学校

10	5日(土)	創立記念日
	7日(月)～10日(木)	中間試験
	21日(月)	進路研究(1、2年・3年P)
11	1日(金)・2日(土) 5日(火)・6日(水)	教育ウィーク(学校・授業公開)
	25日(月)～29日(金)	1年期末試験
12	2日(月)～6日(金)	2、3年期末試験
	3日(火)～6日(金)	1年修学旅行
	13日(金)・16日(月)	1、2年体育大会
	16日(月)	保護者懇談会(3年)
	17日(火)・18日(水)	保護者懇談会
	19日(木)	終業式・全国大会激励会
	20日(金)・21日(土)	
	24日(火)～26日(木)	補充・補習

星稜中学校

10	5日(土)	創立記念日
	8日(火)・9日(水)	中間試験
	16日(水)	運動会
	17日(木)	運動会予備日
	22日(火)	3年補充(～1/25)
11	1日(金)・2日(土) 5日(火)・6日(水)	教育ウィーク(学校・授業公開)
	15日(金)	総合学習発表会リハーサル
	16日(土)	総合学習発表会
	17日(日)	学校見学会
12	2日(月)～4日(水)	期末試験
	5日(木)	体育大会
	16日(月)	講演会
	17日(火)・18日(水)	保護者懇談会
	19日(木)	終業式
	19日(木)～21日(土)	補充授業

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

10	1日(火)	入園願書受付開始
	2日(水)・3日(木)	キッズサッカー(年少組・年中組)
	4日(金)	いもほり遠足(年長組)
	5日(土)	創立記念日
	6日(日)	リトミック研究会
	8日(火)	遠足(年中組)
	9日(水)	とらいランド参観(つき組)
	10日(木)	キッズサッカー(年長組)
	11日(金)	遠足(年少組)
	13日(日)	リトミック研究会
	15日(火)	遠足(年長組)
	16日(水)	とらいランド参観(にじ組・ほし組)
	21日(月)	観劇
	24日(木)	誕生会参観
11	7日(木)	誕生会参観
	13日(水)	星稜子育てステーション
	16日(土)	ミニバザー
	24日(日)	リトミック研究会
	27日(水)～29日(金)	表現遊びの会
12	5日(木)	誕生会参観
	7日(土)	入園説明会
	10日(火)	ABCランド参観(ほし組)
	12日(木)	もちつき
	13日(金)	星稜子育てステーション
	14日(土)	年長希望懇談会 リトミック研究会
	17日(火)	ABCランド参観(つき組・にじ組)
	19日(木)	クリスマス会
	20日(金)	終業式

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

10	1日(火)	入園願書受付開始
	2日(水)	いもほり(年長組・年中組)
	5日(土)	創立記念日
	7日(月)	遠足(年中組)
	9日(水)	卒園アルバム用個人写真撮影(年長組)
	10日(木)	遠足(年長組)
	11日(金)	キッズサッカー(年長組・年中組)、子ども相談
	15日(火)	キッズサッカー(年中組・年少組)、にここ参観①
	16日(水)	キッズサッカー(年長組・年中組)
	17日(木)	遠足(年少組・いちご組)
	19日(土)	親子活動(クッキング)
	22日(火)	キッズサッカー(年長組・年少組)、にここ参観②
	30日(水)	キッズサッカー(年長組・年中組)、にここ参観③
	31日(木)	誕生会参観
11	6日(水)	避難訓練
	8日(金)	交通安全教室
	14日(木)	誕生会参観
	16日(土)	キッズクラブ②
	28日(木)	表現あそびの会(つき組・ばら組・りす組・いちご組)
12	29日(金)	表現あそびの会(ほし組・すみれ組・うさぎ組・きりん組)
	6日(金)	とらいランド参観(つき組)
	12日(木)	誕生会参観
	13日(金)	とらいランド参観(ほし組)、子ども相談
	14日(土)	同窓会
	17日(火)	もちつき会
	19日(木)	ハローサンタの会
	20日(金)	終業式

あとがき

猛暑だった夏も終わり、涼しい風が吹く秋となりました。夏休みが終わり、静かだった校舎に学生たちの笑い声が響き渡ります。それぞれが様々な出来事を経験し、人として成長したのではないのでしょうか。

学園内のエレベーターを利用した際に、同乗していた学生が他の人が降り終わるまで「開」のボタンを押していました。ちょっとした行動ですが、思いやりの気持ちが伝わります。私自身の行動も他の人に見られているという意識を持ち、学生と共に成長していきたいと思っています。

財務部財務課 下飯亮介



学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町丑10番地1
TEL 076-253-3924 (代表)
〈大学〉<http://www.seiryo.jp>
〈短大部〉<http://seitani.seiryo.ac.jp/>

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206番地
TEL 076-252-2237 (代表)
<http://www.seiryo-hs.jp>

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地
TEL 076-252-2237 (代表)
<http://www.seiryo-hs.jp>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27番地
TEL 076-252-5057 (代表)
<http://kinder.seiryo.jp/seiryo/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
TEL 076-244-5636 (代表)
<http://kinder.seiryo.jp/izumino/>